



この添付文書は、本剤の使用前に必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

オキナゾール[®]L600

要指導医薬品

腔カンジダ再発治療薬 腔用外用薬

腔カンジダは、カンジダ菌という真菌(カビの仲間)によって起こる腔炎です。腔カンジダにかかると外陰部のかゆみと、おりもの見た目や量に変化が起こり、ときに外陰部の熱感、痛み、腫脹感を伴います。おりものの性状は、腔カンジダ特有のおかゆ(カッテージチーズ)状、白く濁った酒かす状です。本剤は腔カンジダの症状を改善する治療薬です。

本剤の使用は、以前に医師から腔カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限ります。

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

1. 次の人は使用しないでください。

- (1) 以前に医師から、腔カンジダの診断・治療を受けたことがない人。
- (2) 腔カンジダの再発を繰り返している人(2ヵ月以内に1回又は6ヵ月以内に2回以上)(短期間に繰り返し再発する場合は、糖尿病など他の疾患の可能性も考えられます)。
- (3) 腔カンジダの再発かどうかよくわからない人[おりものが、おかゆ(カッテージチーズ)状、白く濁った酒かす状ではない、いやなにおいがあるなどの場合、他の疾患の可能性が考えられます]。
- (4) 発熱、悪寒がある人。
- (5) 吐き気、嘔吐がある人。
- (6) 下腹部に痛みがある人。
- (7) 背中や肩に痛みがある人。
- (8) 不規則な出血又は異常な出血、血の混じったおりものがある人。
- (9) 腔又は外陰部に潰瘍、水膨れ又は痛みがある人。
- (10) 排尿痛がある人又は排尿困難な人。
- (11) 次の診断を受けた人。 糖尿病
- (12) ワルファリン等の抗凝血薬を使用している人。
- (13) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (14) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (15) 15才未満の小児又は60才以上の高齢者。

2. 本剤の使用後6日間は、次の医薬品を外陰部に使用しないでください。

カンジダ治療薬以外の外皮用薬



相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 授乳中の人。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、この添付文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。

| 関係部位 | 症 状 |
|------|---------------------------------------|
| 腔 | 疼痛(ずきずきする痛み)、腫脹感(はれた感じ)、発赤、刺激感、かゆみ、熱感 |

3. 3日間経過しても症状の改善がみられないか、6日間経過しても症状が消失しない場合は、この添付文書を持って医師の診療を受けてください。

効 能

腔カンジダの再発(以前に医師から、腔カンジダの診断・治療を受けたことのある人に限る。)

成分(1錠中)

オキシコナゾール硝酸塩……………600mg
(添加物:結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、クエン酸水和物、ステアリン酸マグネシウム)

用法・用量

成人(15才以上60才未満)1回1錠を腔深部に挿入してください(就寝前が望ましい)。ただし、3日間経過しても症状の改善がみられないか、6日間経過しても症状が消失しない場合には医師の診療を受けてください。

| 年齢 | 1回量 |
|----------------|--------------|
| 成人(15才以上60才未満) | 1錠(就寝前が望ましい) |
| 15才未満又は60才以上 | 使用しないこと |

<用法・用量に関連する注意>

- (1)用法・用量を厳守してください。
 - (2)本剤は1回の使用で十分な効果があるように設計されています。1回使用すると使用した薬剤が腔内に留まって徐々に効きますので、カンジダ用の腔錠あるいは腔坐剤を追加使用しないでください。
 - (3)この薬は腔内のみ使用し、飲まないでください。もし、誤って飲んでしまった場合は、すぐに医師の診療を受けてください。
 - (4)生理中は使用しないでください。使用後6日以内に生理になった場合は治癒等の確認が必要であることから、医師の診療を受けてください。(生理中は薬剤の効果が十分得られない場合があります。)
 - (5)使用後6日以内に、腔錠が溶けずに、挿入したそのままの形や大きさで出てきたときには、自己判断で腔錠を追加挿入せず、医師又は薬剤師にご相談ください。
- ※本剤は腔内に留まって効果を発揮し、徐々に体外に排泄されるため、白いかたまりやペースト状のものが出てくる場合があります。

腔錠の使い方

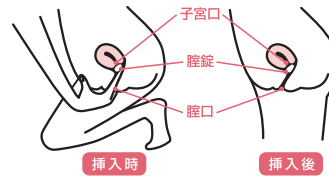
取り出し方

手指を石けんできれいに洗い、右図のように腔錠の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミを破り、腔錠を取り出してください。(誤ってシートごと使用すると、粘膜に突き刺さるなど思わぬ事故につながります。)



挿入法

両足を広げてしゃがみ、右図のように腔錠を指先で腔内の最も深い所に挿入してください。(アプリケーター等は使用しないでください。)挿入後、患部に接触した手指は石けんでよく洗ってください。腔錠を入れる向きに決まりはありませんが、細い方から挿入すると入れやすいので推奨します。



以上で、再発した腔カンジダに対する治療は終わりです。

しかし、使用後6日間は、カンジダ菌が腔内に残っているので、生活上の注意を守りましょう。
3日後：症状が改善しない場合は、医師の診療を受けましょう。
6日後：症状が消失しない場合は、医師の診療を受けましょう。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は使用しないでください。



生活上の注意

- (1)腔カンジダを再発した場合には、パートナーに感染している可能性があるため、腔カンジダに感染した旨を伝え、パートナーの方は陰部のかゆみ、発赤等の不快症状があれば、すぐに医師の診療を受けましょう。
- (2)パートナーへの感染を避けるため、本剤を使用後6日間は性行為を避けましょう。
- (3)本剤を使用後6日間は、患部への刺激を避けるため、殺精子剤は使用しないようにしましょう。
- (4)薬剤の効果を維持するため、自分で腔内を洗うことは控えましょう。
- (5)入浴時は石けんの刺激を避けるために、外陰部は石けんで洗わず、お湯だけで軽く洗う程度にしましょう。
- (6)カンジダ菌は、温度や湿度の高い状態で繁殖しやすいため、できるだけ乾燥した状態を保つようにすることが大切です。

以下の点に気をつけましょう。

- ・入浴、水泳等の後は、腔の外側は十分乾かしましょう。濡れた水着などはできるだけ早く着替えましょう。
 - ・おりものシートなどの衛生用品を使用する場合は、こまめに交換しましょう。
 - ・下着は、通気性のよい綿製品などを用いましょう。
- (7)下着やタオルは毎日清潔なものを着用し、タオルなどは感染を避けるため、家族と共用しないようにしましょう。
 - (8)カンジダ菌は腸にも常在している菌です。トイレの後は腸からの感染を避けるため、前から後ろにふきましょう。
 - (9)かゆみがあっても、外陰部をかかないようにしましょう。かくと、刺激がひどくなったり、感染が広がる可能性があります。



製造販売元
田辺三菱製薬株式会社
大阪市中央区道修町3-2-10

本品のお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願いいたします。
田辺三菱製薬株式会社「くすり相談センター」
(フリーダイヤル ☎0120-54-7080)
受付時間：弊社営業日の9:00~17:30